

令和元年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧

施設名	所在地	指定管理者名	指定期間	総合評価	評価内容
東京都檜原都民の森	檜原村	檜原村	3年 (平成30年度～ 令和2年度)	A	<p>【管理状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営は計画どおり適切に実施されている。老朽化しつつある木造施設の修繕や倒木処理等、施設全体の維持管理について、職員をはじめ地域と連携しながら上手に対応している点や、建物・遊歩道の総合点検を年4回実施している点も評価できる。また、展示物の照明の監修、登山道道標のリニューアル、間伐材を利用したベンチの作製など、ハード面における熱心な取組を、予算内で実施した点は評価できる。 電気自動車を増車している点やそれを利用した送迎をしている点は評価できる。 <p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多彩な活動を展開しており、利用者の満足度も高い。 20～40代を対象とした「バードウォッチング」、中高生を対象とした「森のスタディーツアー」などの新たな自然教室や、若い世代を対象としたボルダリング体験などを実施し、様々な世代を取り込もうとする姿勢は好感が持てる。 翻訳機を購入するなど、多様な来園者に対応する工夫が見られる。 SNSを活用して頻繁に情報を発信している点、ホームページのアクセスが増加している点は評価できる。 イベントの集客数にバラつきがあったが、成否を分けた要因の分析や改善策の検討など、実施後の考察が不足している印象を受けるので、実施後の振返りを習慣化してほしい。 雨天時に宿泊施設と連携し施設の利用を促進することに加え、夜間プログラムを展開し地域宿泊施設の利用を促進することや、地域の産物を紹介するとともに二次加工品や新たな産物を創出するといった取組を行うことで、地域の窓口として、より地域と密接に連携した取組を展開してほしい。
東京都奥多摩都民の森	奥多摩町	奥多摩町	3年 (平成30年度～ 令和2年度)	B	<p>【管理状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営はおおむね計画どおり適切に実施している。 イベントの開催前に実踏による安全確認を行い、事故を想定したシミュレーションを行うなど、参加者の事故防止に努めている。また、園内における事故防止のため、自然災害発生時の危険箇所についてハザードマップを活用した情報発信を行った。 <p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き多彩なプログラムを系統的に展開しており、利用者の満足度も高い。 鹿肉の竜田揚げや奥多摩やまめのあんかけ等、地元の食材を活用したメニューの開発を進めている点や、地元住民との協働により10年ぶりに炭焼き窯を復活させ、施設の資源にした点は評価できる。 利用者数の増加につながらなかったものの、ターゲットの選択と集中を行い、ファミリー層向けの「親子でドローン教室」等の新たなイベントを開催する攻めの姿勢を持っていることには好感が持てる。「親子でドローン教室」や「山里サイクリング」等新規イベントは好評を得ており、今後は、利用者数の増加に向けて、これらの好評であったイベントの参加者数を更に増加させる方策の検討を求め。 <p>また、現在進めている事業展開が更なる利用促進につながるように、イベント参加者の属性の継続的な把握やターゲットに応じた取組を求めたい。</p>

令和元年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧

施設名	所在地	指定管理者名	指定期間	総合評価	評価内容
東京都立奥多摩湖畔公園 山のふるさと村	奥多摩町	奥多摩町	3年 (平成30年度～ 令和2年度)	B	<p>【管理状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営はおおむね計画どおり実施されている。 担当者相互のコミュニケーションを積極的に行い、仕事の進め方について適宜相談、調整している点は評価できる。 台風等の際に、宿泊予定者に周遊道路通行止めの連絡を行ったり、園内放送で交通規制情報を来園者に伝えて速やかな帰宅を促したりしている。また、クマ目撃時には、テントサイトの利用を中止するなど、利用者の安全を第一に考えている点は評価できる。 <p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者の要望や苦情を全職員が共有する仕組みを導入することで、組織として利用者のニーズを把握し、改善に取り組んでいる点は評価できる。 ここ数年、新たなイベントへの取組に消極的な印象を受けていたが、利用状況に応じてプログラムを評価・整理し、長年のネットワークを生かすなどして、「東京・奥多摩の伝統芸能ツアー」や「ツリーイング体験」、鉄道会社と連携した「お座敷列車」などのイベントに新たに挑戦した点を評価したい。 年々、利用者数が減少していることを踏まえ、各プログラムを評価・取捨選択するなどして、集客数向上に向け戦略的に対応してほしい。また、夜間のイベントやプログラムを開発・実施するなどして、地域への宿泊利用の促進に貢献することも期待したい。
東京都立多幸湾公園	神津島村	神津島村	3年 (平成30年度～ 令和2年度)	A	<p>【管理状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営はおおむね計画どおり適切に実施している。 <p>デッキテントサイト、休憩舎、炊事場等の老朽化した施設の修繕を重点的に行うことにより、利用者の利便性を向上させている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 予約者、宿泊者に対する台風情報の事前提供や、海水浴場の遊泳状況に関する注意喚起を行うなど、災害を未然に防ぐ対応ができています。 <p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 予約方法が不便との利用者からの要望に対し、予約システムを日本最大級キャンプ場検索サイトに変更するとともに、自動翻訳機を使用しながら外国人利用者の要望を把握していることは評価できる。 静岡県、愛知県からの誘客促進や、友好都市である奥多摩町との提携活用など、島外からの利用の促進はもとより、島内の民宿との連携や子供たち向けのプログラム展開等、島内での位置づけにも配慮するなど、多角的に検討している点は評価できる。 ピーク時の受入れ人数を120名に抑制したことは、利用者の満足度向上、リスクマネジメントの両面からも評価できる。 自然教室については、民間会社とのコラボレーションによる船賃割引や神津島村との連携によるバスの無料使用を実施するなど、参加者の負担を抑える努力をしている。また、島内小学生等を対象に、地元食材を使った料理教室や方言等についての講話を実施し、地域資源の活用にも努めている。神津島の魅力を活用したプログラムの開発に取り組み、更なる集客力の向上に努めてほしい。

令和元年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧

施設名	所在地	指定管理者名	指定期間	総合評価	評価内容
東京都立大島公園 海のふるさと村	大島町	大島町	3年 (平成30年度～ 令和2年度)	A	<p>【管理状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営は計画どおり適切に実施している。「もし自分たちがお客様だったら」との視点に立ち、利用者の動向や意向の把握に努め、施設塗装や建具の防腐剤塗布、損傷部分の補修等を職員自らが実施するなど、施設全体の見直しを積極的に実施している。 大雨や土砂災害等に関する注意喚起を事前に行うなど、利用者の安全に配慮している。 <p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨今のキャンプブームによる新たな客層に対応するため、フリーテントサイト4区画にウッドデッキを設置した点や人気の高いテント、無料貸出備品（調理器具、食器、運搬具）を購入した点、また、利用者の利便性を向上させるため、20基のキャンピングテーブルを製作した点や荒天時対策として四阿に着脱可能なビニールシートを設置した点は評価できる。 初日の出観察や「浮き球編み体験」など、オフシーズンに自然体験教室を新たに企画したことで参加者数が増加しており、満足度も高い。ただし、「椿油搾り体験」については、ターゲットにより開催時期を変更したり、抽出した椿油を使って旬の食材を揚げて食したりするなど、工夫の余地がある。 パンフレットの刷新、自然研究路ルートマップの新規作成、ホームページの内容充実など、広報に積極的に取り組んでいる。 島外からの利用者のみならず、地域施設（資源）としての役割を果たすことで地元の人たちの利用促進を図ろうとしている点は評価できる。 食堂が休止している中で、自炊用に地元食材を販売するなど、工夫の余地がある。
東京都立小峰公園	あきる野市	公益財団法人 東京都公園協会	5年 (平成30年度～ 令和4年度)	S	<p>【管理状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営は計画どおり適切に実施している。 少人数で多彩な事業を展開しているにもかかわらず、担当者間で連携しながら業務の平準化を図っており、業務管理、人的管理において安定感がある。 きめ細かな園内管理により、オオムラサキの幼虫が見られるようになるなど、生物多様性に配慮した維持管理を行っている。 多摩産材を用いて、園内設備の更新を行っている。 <p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動販売機の導入など、利用者のニーズに応える取組を進めている点や、物品販売のニーズ把握調査の結果に基づき、実施した「小峰ふれあい自然郷 収穫市」において、地元農産物を販売することで本施設が地域の良さをPRする拠点となっている点は大きい評価できる。 多彩なプログラムを継続して展開している点は大きい評価できる。具体的には、オフロード車いすを利用した農地見学など、様々な層が楽しめる里山プログラムを提供している点、「谷戸田の稲作」、「おいしい野菜づくり」、「里山季節めぐり」などの自然教室に加え、利用者の要望に合わせたオーダーメイドプログラムを実施している点は評価できる。 梅やセリバオウレンにスポットを当てることで、オフシーズンの集客アップにつなげた点は大きい評価できる。 地元あきる野市の中学・高校から受け入れているインターンシップは、生徒の体験学習の場となっていることに加え、参加生徒やその友人たちを通して、公園に関心をもつ層を広げるよい機会となっている。

令和元年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧

施設名	所在地	指定管理者名	指定期間	総合評価	評価内容
東京都奥多摩ビジターセンター	奥多摩町	公益財団法人 東京都公園協会	5年 (平成27年度～ 令和元年度)	B	<p>【管理状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営はおおむね計画どおり適切に実施している。 奥多摩の山岳地域を中心とした実踏調査や、山岳遭難防止キャンペーンなどを実施し、安全登山の普及啓発拠点としての役割を果たした点は評価できる。また、実踏調査の際に土砂崩れを発見し都水道局に報告するなど、登山道等管理者と連携しながら登山者の安全確保に努めている。 <p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「奥多摩登山塾」を開催し参加者の高い評価を得るなど、利用者の満足度は高い。 数多くの実踏調査に基づき収集した植物の開花状況等、多岐にわたる情報を、展示を活用しながら解説している点は評価できる。 ホームページにおいて紅葉情報や積雪情報、ツキノワグマ目撃情報等を高頻度で発信した結果、アクセス数が増加している。 新たに神代植物公園と連携しながら、より広域に自然環境の調査を行い、その概況や状態の把握を試みたことは評価したい。 本格的な登山者だけでなくライトな山歩き層を取り込む方を検討するなど、利用者の分析等を行い、来館者数を増加させる取組の検討を求めたい。
東京都小笠原ビジターセンター	小笠原村	公益財団法人 東京都公園協会	7年 (平成28年度～ 令和4年度)	A	<p>【管理状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 海辺での施設の維持管理は難しいが、おおむね計画どおり適切に実施しており、構造材内鉄筋や空調設備の腐食の点検・補修など、維持管理を徹底している。 台風等で高波が予想される際の注意喚起や、台風等の発災時における関係機関との情報連絡など、利用者の安全確保に向けた取組を適切に行っている。 <p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地元住民の利用の促進を図ろうとしている点は評価できる。島民のライフスタイルを切り口にした特別展「島のくらし」は、観光客のみならず、「新島民」を含めた住民にも島の良さを再認識してもらうよい機会となっており、価値のある取組として評価できる。 竹芝客船ターミナルでのニューズレター配布や、おがさわら丸船内でのポスター掲示など、関係機関と連携し地域内外での広報に取り組んでいる点は評価できる。 地元高校との連携行事である「磯の観察会」、島内団体等と連携体制を構築し実施したクラフト体験や「南洋踊り体験」など、地元と密着した取組を行っている。 利用者数の把握に当たっては、地元住民の利用比率の把握等も併せて行ってほしい。

令和元年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧

施設名	所在地	指定管理者名	指定期間	総合評価	評価内容
東京都高尾ビジターセンター	八王子市	株式会社 自然教育研究センター	5年 (平成30年度～ 令和4年度)	A	<p>【管理状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営は計画どおり適切に実施している。 少ない人数で多数の来訪者に対し、きめ細かい対応をしている点や、職員間のコミュニケーションが図られている点、職員に対する指導を適切に行っている点は評価できる。 事故防止対策、熱中症予防対策、夜間ハイキング者への注意喚起などをきめ細かく行っている。 情報セキュリティ担当者の設置やパスワードの頻繁な変更、情報セキュリティマニュアルの作成など、情報セキュリティの強化に努めている。 <p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者からの要望に対応し窓口に図鑑・温度計を設置した点、施設の不適切使用による故障を回避するため、英語、韓国語、中国語で案内をトイレに表示した点は評価できる。 多数の来訪者のニーズに対応した自然教室等を実施しており、利用者の満足度も高い。当日参加可能なワークショップを毎日開催したり、「夜の満喫ハイキング」を実施したりするなど、高い満足度を得ながら、集客力の増加も実現している。特に「夜の満喫ハイキング」は、新たな楽しみ方を提供するとともに、参加者に夜の登山のリスクに対する意識を醸成している点も評価できる。 春秋のシーズンの混雑緩和に向けた利用者分散のための情報を収集し、計画的に利用の分散を呼びかけている点は評価できる。 SNS等の媒体を活用し通行止め情報や紅葉情報などをリアルタイムに提供することで、施設の快適な利用や自然環境への負荷の軽減に結びつけようとする取組は評価できる。
東京都御岳ビジターセンター	青梅市	株式会社 自然教育研究センター	5年 (平成30年度～ 令和4年度)	A	<p>【管理状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営は計画どおり適切に実施している。 職員間のコミュニケーションが図られている点や、防災士の資格取得者を配備し、全スタッフに救命技能認定上級の資格を取得させるなどして、来訪者の安全確保のためにスタッフ教育に熱心に取り組んでいる点は評価できる。 地域住民、地元消防団、東京都レンジャーと協力して災害状況の把握に努めている点は評価できる。 <p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 御岳山上の自然や歴史・文化を、周辺の山々をはじめ山下なども含め、より広域の環境の中で捉え、相互のネットワークや同質性・差異性など、相対的に位置づけようとしている点は大いに評価できる。 利用者のニーズに応じた自然教室等を実施しており、利用者の満足度も高い。新企画の宿泊イベント「アニマルツアー」や、自然の痕跡をモチーフにしたストラップづくり体験、また、オフシーズンに実施した、登山用品店とのタイアップイベント「アイゼン講座」など、ユニークなプログラムが光る。さらに、宿坊や売店を営む地元の住民等を対象とした「山の方向けガイドツアー」は、住民が地域の良さを再認識する機会を提供しているものとして大いに評価できる。 ビジターセンターは位置が認知されにくい場所にあるが、ケーブルカー御岳山駅から道路沿いに展示をして興味をもたせたり、利用者に声掛けして相手の目的を探ったりするなど、館内に誘導する工夫がみられ、大いに評価できる。

令和元年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧

施設名	所在地	指定管理者名	指定期間	総合評価	評価内容
東京都御岳 インフォメーションセンター	青梅市	一般社団法人 青梅市観光協会	5年 (平成30年度～ 令和4年度)	B	<p>【管理状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺自治体と連携した渓谷沿いの遊歩道の除草等、限られたスペースと人員の中で、施設の管理運営は概ね計画どおりに実施している。 ・台風前の時期の雨どい・外壁・側溝等の清掃作業、防災訓練、クマ出没情報の提供等を適切に実施している点は評価できる。 <p>【事業効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の意見を受け入れ、運営の改善を図りつつ、施設を有効に活用しようと努力を重ねている点は評価できる。 ・物販を充実させることを通して、利用者のニーズに応えるとともに、地元業者を積極的に利用することで経済的に貢献している。 ・今後は女性客も意識し、トップシーズンだけでも地元のお土産が購入できるようにするなど、新たな商品の販売を検討すべきである。 ・御岳インフォメーションセンターは、場所的に御岳渓谷、御岳山観光の玄関口であり、地域で果たす役割は大きいと考えられるため、青梅市観光協会や御岳ビジターセンターなどの関連組織とさらに連携を深め、旬の情報をサインボードでPRするなど、来館のきっかけづくりにも力を入れるべきである。